

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 212-0055  
 住 所 神奈川県川崎市幸区南加瀬1丁目8番6号  
 氏 名 株式会社 中商  
 代表取締役 中嶋 達夫 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社 中商		
主たる事務所又は 事業所の所在地	神奈川県川崎市川崎区扇町5番15号		
該当する事業者 の要件	<input type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	R	サービス業(他に分類されないもの)
	中分類	88	廃棄物処理業
主たる事業 の内容	産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の中間処理(焼却)		
事業者の規模	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input checked="" type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		17,310 t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	扇町CRセンター
		所在地	神奈川県川崎市川崎区扇町5番15号
		電話番号	044-329-1002
		FAX番号	044-366-7775
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	平成28年度 ~ 平成30年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策計画

### 1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

- ①当社の業務内容は、産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬及び処理であり、温室効果ガスの排出量が最も多い扇町CRセンターは、産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の焼却処理を行っており、その際に発生する温室効果ガスを管理していきます。
- ②温室効果ガスの削減については、扇町CRセンター施設の点検を経営的・技術的に検討のうえ段階的に強化し、定期的に見直しながら地球温暖化対策を推進します。
- ③本計画について当工場の全従業員に周知徹底を図るとともに、総合的かつ効率的な推進を図るため、2000年2月に取得したISO14001に基づく環境マネジメントシステムに従って進行管理を行います。また、地球温暖化対策に関する管理マニュアル等の定期的な見直しを行います。
- ④経営的・技術的に検討を重ね、再生可能エネルギー源等の積極的な利用を図ります。

### 2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制

別紙、参照

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等 (第1号、第2号、第4号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基準年度	平成28年度	目標年度	平成30年度
基準排出量	(実) 17,310 (調) 17,310 t-CO <sub>2</sub>	目標排出量	(実) 17,310 t-CO <sub>2</sub>
削減率	(実) 0.0 %	削減量	(実) 0 t-CO <sub>2</sub>

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原単位の活動量	廃棄物焼却量	単 位	t-CO <sub>2</sub> /t
基準年度の値	1.254	目標年度の値	1.254
削減率	0.0 %		
延床面積、生産数量以外の原単位を使用した場合の理由			

ウ 目標設定に関する考え方

温室効果ガスの排出量は、扇町CRセンターで産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物を焼却処理する際に発生するものであり受入量が増えると増加します。計画期間の受入量は横ばいとし、削減率0.0%とした。また、原単位についても削減率0.0%とした。弊社全体のエネルギー使用量は低く、1号2号該当事業者ではないため、燃料と電気の使用量は除いた。温室効果ガスの排出量の削減に直接関係はないが、点検表を用いて施設の点検を積極的に実施します。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標 (全社目標)

--

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

<p>事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第1号、第2号、第4号該当者等)</p>	<p>①推進体制の整備：管理マニュアル作成、研修体制の整備。②主要設備等の安全管理：設備単位によるエネルギー管理等の徹底。③燃焼設備の安全管理：バーナーノズルの点検、清掃、整備の実施。④受変電設備及び配電設備の安全管理：受変電設備及び配電設備の定期的な保守、点検の実施。⑤ポンプ、ファン、ブLOWER、コンプレッサー等の安全管理：流体の漏えいを防止し、配管やダクト等の抵抗を低減するための、定期的な保守、点検の実施。⑥照明設備の安全管理：照明器具及び光源の清掃、光源の交換等、定期的な保守、点検の実施。⑦新設、更新等における措置：清掃、光源の交換等の保守が容易な照明器具の選択、保守性を考慮した設置場所、設置方法等による設置。⑧事務用機器の管理：不要時の電源切断、停電力モードの設定。⑨事務用機器の安全管理：定期的な保守、点検の実施。⑩断熱性、再生可能エネルギーの利用等：日射の遮蔽のためのブラインド、カーテン等の積極的な利用。</p>
<p>自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第3号該当者等)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

経営的・技術的に検討を重ね、再生可能エネルギー源等の積極的な利用を図る。

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

なし

6 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

なし

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

1、ISO14001にて管理している教育計画に地球温暖化対策に関する当計画の内容を取り入れ、従業員に対して教育する。  
2、建設当初から、熱交換器（空冷）にて熱回収後の熱風は、排ガスの白煙防止に有効利用している。

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	17,310	t-CO <sub>2</sub>
(調)	17,310	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k<sub>l</sub> 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k<sub>l</sub> 以上 1,500k<sub>l</sub> 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k<sub>l</sub> 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k <sub>l</sub> 未満	
300~400k <sub>l</sub> 未満	
200~300k <sub>l</sub> 未満	
100~200k <sub>l</sub> 未満	
100k <sub>l</sub> 未満	

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
㈱中商 扇町CRセンター	川崎市川崎区扇町5-15	8822	産業廃棄物処分量	17,310 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--